



青島の風

青島日本人学校だより
令和元年6月6日
校長 金森孝子

成为中国和日本的桥梁

学校の周りの月季花「コウシンバラ」が美しさを増す季節、学校では、5月に実施した行事の学習を基に、多くの情報を整理し考えをまとめる学習に入っています。小学部では、上清路小学との交流、6年の修学旅行、中学部では、青島市の昔と今をめぐる宿泊学習を終え、直接見たり触れ合ったりすることなどを通して、多くの気付きや感想をもったようです。今後、国際的な視野から新たな課題をもち、理解したことをもとに、考えを深めていくことを期待しています。

私の青島での生活も2年が経ちました。少し中国語に慣れてきたことから、かつての日本との関係が深い地域に出かけ、その土地を生で感じながら、当時の人々の思いを想像しています。北から旧満州の哈爾濱、瀋陽（奉天）大連、旅順、そして北京、洛陽、西安など。古代からの隣国である中国と日本が、互いに未知の大陸や島をめざして船出した時代、国レベルでの交流を図った時代、庶民間で貿易が行われた時代、そして、1世紀前の不幸な歴史の時代。訪れた土地でその時代に生きた人々の思いを感じ理解を深めることは、自分自身の日本を俯瞰する目を育て、考えや行動の骨格を作り出していくように思えてなりません。

6月4日、小学部4年生が、「青島市消防博物館」へ見学に行きました。第1次日本統治時代の1915年、日本が青島のドイツ消防本部を「消防組」に改めたこと、第2次日本統治時代の1938年、日本は「青島特別市警察消防団」を成立させ、矢島彦太郎が団長を務めたこと、1940年、火事の緊急電話を「119」に改めたことなどが紹介されていました。その情報から、子どもたちは何を思い何を感じるか。中国に今生活しているからこそ得られる生の姿や情報から考えを深め、中国と日本の懸け橋となる一歩を踏み出してほしいと思います。



上清路小学との交流会

担当：福留さゆり

小学部では、互いの文化について理解を深め、国際人としての資質を養うことを目的に、年に1回現地校交流を行っています。今年度は、上清路小学の児童を日本人学校に招待しての交流会でした。

第一部の学校交流では、歓迎の意味を込めて、6年生が「和太鼓」を演奏し、小学部全員で「世界に一つだけの花」を中国語と日本語で歌いました。また、全校ゲーム「じゃんけん列車」をして仲を深めました。第二部の学年交流では、各学年に分かれて交流しました。日本の図工の授業を体験したり、紙飛行機を作って飛ばしたりと、授業や遊びを通して、両校の絆がさらに深まったと思います。

今後も、中会話や英会話、総合等の時間で、国際理解について考えていきます。交流会をきっかけに、日本と中国の絆がさらに深まっていくことを願っています。



小学部 修学旅行

6年担任 中山 一機

5月29日から31日までの3日間、小学部6年生は修学旅行で、山東省の泰安、済南、維坊へ行ってきました。

1日目はまず岱廟を見学しました。ガイドさんが詳しく説明してくださったので、歴史についてもしっかりと理解することができました。岱廟を見学した後はいよいよ泰山への登山です。想像以上の階段の多さ、また傾斜の厳しさに、へとへとになりながらも励ましあい、協力しながらゴールである南天門まで登りきることができました。泰山からみる景色はとてきれいで、みんな達成感を感じることができました。

2日目の天候は何と雨。日の出を楽しみにしていたので、見れずとても残念でしたが気を取り直して黄河、大明湖、黒虎泉、山東博物館を見学しました。特に黄河は、そのスケールの大きさに圧倒されました。実際に橋を渡ることができたのも良い経験となりました。

最終日である3日目は、凧・版画作りを行いました。特に凧の着色は一人一人個性がでて、同じ凧でも全く違う印象を受けました。

3日間を通し、事前学習で話し合ったテーマやきまりを守ろうとする姿が見られました。その中でも友達や周囲を気遣う言動が多く見られたことはとても嬉しく思います。今回の修学旅行で得た経験や学びをこれからの学校生活にも活かし、中学生につなげていきたいと思ひます。



中学部 宿泊学習

中学部担任 小谷 勇人

5月22日～24日にかけて、中学部の生徒全員で3日間の宿泊学習に行きました。昨年度の修学旅行で残された成果と課題を糧にして、ルールやマナーに係から原案を出して会議を持つなどの活動を3年生が中心になって行いました。もちろん3日間の中で新たな成果と課題が出ましたが、中学部として一歩前進できる機会となりました。

宿泊学習のテーマは「青島と日本の今と昔のつながり」です。昔のつながりとして、1日目に膠南市の南部にある秦の始皇帝と徐福に関わる瑯琊台に行き、3日目は旧市街のかつての日本の足跡を探しました。また、今のつながりとして1日目には日本語学科を有する青島第九中学との交流を行い、2日目の午前中は獅王日用化工（青島）有限公司と午後は青島亀田食品有限公司の工場見学と、講演や体験活動を行いました。

この3日間を通して、今も昔も様々な日本人が青島市と関わっていることを知り、私たちがここにいる日本人として青島とはこんな場所ですと語れるようになったと思ひます。

まだまだ学びは続きます。今後は、それぞれの持ったテーマを基にしてそれぞれ発表会を行い、そこで出てきた学習成果を中学部として学習発表会で形にできるように頑張ります。

